

平成22年度予算(案)のポイント

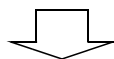
* 数値は概数のため、端数は合わないことがある。

平成22年2月15日

小樽市財政部

1 予算規模

前年度に引き続き「緊縮予算の編成」
限られた予算の中で経済・雇用対策の重点的な実施
本市の将来を見据えた諸課題への対応
(事業の厳選や職員給与の削減継続など財政健全化の取組などの反映)
(国の第2次補正予算の活用など平成21年度補正予算との連携)
(第6次総合計画の着実な推進)

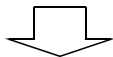


①一般会計の予算規模は 約	551.6億円 (前年比 + 9.5億円、+ 1.7%)
②特別会計の予算規模は 約	334.3億円 (前年比 △ 4.8億円、△ 1.4%)
③企業会計の予算規模は 約	225.4億円 (前年比 △ 56.2億円、△ 19.9%)
全 会 計	約 1,111.3億円 (前年比 △ 51.5億円、△ 4.4%)

※ 一般会計の予算規模は前年度とほぼ同規模であるが、増加は16年度以来、6年ぶり

2 収支状況（一般会計）

財政健全化の取組に加え、地方交付税等の増加はあったものの、
実質的には、引き続き、財源不足の状況



他会計からの借入れや職員手当等の削減継続により、
収支均衡予算を編成

- ①一般財源収入は 約 346.3億円 (前年比 + 8.0億円、+ 2.3%)
②歳出に必要な一般財源は 約 355.5億円 (前年比 + 2.2億円、+ 0.6%)
③財源対策前の財源不足額は約 9.2億円 (前年比 5.8億円減少)

④財源対策

他会計からの借入れ(約5.3億円)のほか、職員手当等の削減継続(約3.9億円)により、財源不足を解消し収支均衡予算を編成

H22 予算編成の状況(一般会計・一般財源ベース)

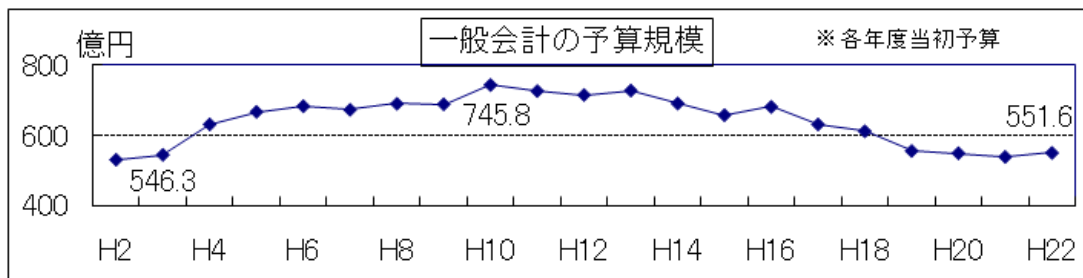
※各項目で四捨五入しているので計が合わない部分がある

	H 2 2 年度	H 2 1 年度	増・減(単位:億円)
一般財源収入 (財源対策前) (A)	346.3	338.3	+8.0(+2.3%)
	↓	↓	主な増・▲減
			市 税 ▲ 9.4
			地方交付税(臨財債含)+17.5
			譲与税・交付金 ▲ 0.2
歳出充当一般 財源必要額 (B)	355.5	353.3	+2.2(+0.6%)
	↓	↓	主な増・▲減
			人件費 ▲3.0
			扶助費 +1.9
			公債費 ▲2.3
			負担金補助 +3.9
			繰出金 ▲1.1
財源対策前の 財源不足額 (A) - (B)	▲ 9.2	▲15.0	+5.8
	↓	↓	
(財 源 対 策) 他 会 計 借 入 れ	5.3	9.7	
	+	+	H 22:下水(5.3)
			H 21:水道(1.6) 下水(8.1)
職員手当等 の削減継続	3.9	5.3	△1.4
	↓	↓	
最終的な 財源不足額	収支均衡	収支均衡	

平成22年度一般会計予算(案)の概要

予算規模

一般会計の予算規模は、551.6億円（平成3年度546.3億円と同程度）



歳入

◆市税 140.0億円 対前年度▲9.4億円

市民税(▲3.4億円)、固定資産税(▲4.4億円)、都市計画税(▲0.9億円)など

	市民税			固定 資産税	都市 計画税	たばこ 税	その他	合 計
	個人	法人	計					
H22予算	45.4	12.4	57.8	60.4	11.7	8.6	1.5	140.0
H21予算	50.1	11.1	61.2	64.8	12.6	9.3	1.5	149.4
増減額	▲ 4.7	1.3	▲ 3.4	▲ 4.4	▲ 0.9	▲ 0.7	0.0	▲ 9.4

単位:億円

◆譲与税・交付金 21.1億円 対前年度▲ 0.2億円

利子割交付金(▲0.4億円)、自動車重量譲与税(▲0.3億円)など

◆地方交付税 159.2億円 対前年度+ 8.8億円

交付税の振替措置である臨時財政対策債との合計では185.2億円で対前年度+17.5億円

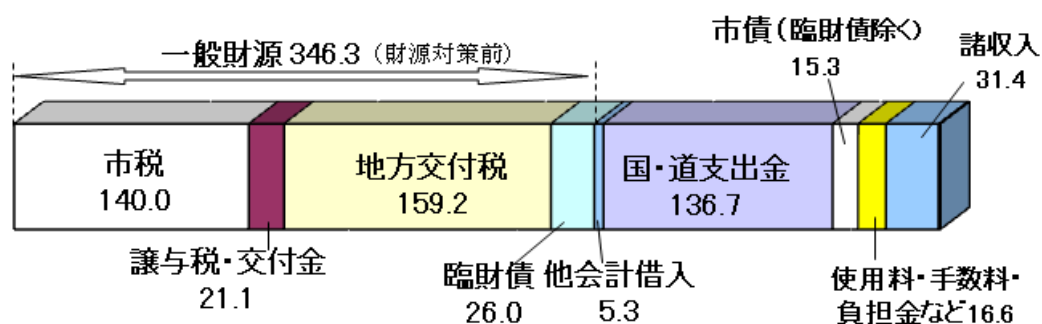
	H22予算	H21予算	増減額	増減率
地方交付税	159.2	150.4	8.8	5.9
臨時財政対策債	26.0	17.3	8.7	50.8
計	185.2	167.7	17.5	10.4

単位:億円、%

◆国・道支出金 136.7億円 対前年度+ 17.8億円

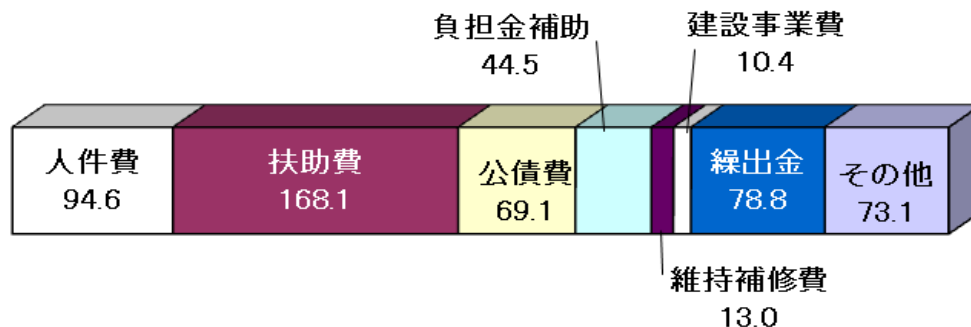
◆市債 41.3億円 対前年度▲ 1.0億円

臨時財政対策債(+8.7億円)、退職手当債(+0.3億円)、建設事業分等(▲2.8億円)、
公的資金借換え(▲7.2億円)など



歳 出（経費別） ※予算説明書の性質別数値とは異なります。

- ◆ **人 件 費** 94.6億円 対前年度▲1.3億円
職員給与費(▲1.4億円)、共済費(+0.5億円)、退職手当(▲0.2億円)など
- ◆ **扶 助 費** 168.1億円 対前年度+15.2億円
子ども手当(+10.5億円)、障害者福祉関係(+2.5億円)、生活保護費(+1.3億円)など
- ◆ **公 債 費** 69.1億円 対前年度▲9.5億円
公的資金の借換えに伴う減など
- ◆ **負担金補助及び交付金** 44.5億円 対前年度+7.8億円
北しりべし廃棄物処理広域連合負担金(+3.6億円)、後期高齢者医療療養給付費負担金(+0.7億円)、介護基盤緊急整備特別対策事業費交付金(+2.5億円)など
- ◆ **建設事業費** 10.4億円 対前年度▲2.8億円
(※ 補正予算の「地域活性化・きめ細かな交付金」関連事業費との合計では12.6億円で対前年度▲0.5億円)
消防署朝里出張所建設(▲2.3億円)、廃棄物最終処分場第2期拡張整備(▲1.8億円)、手宮鉄道修復(▲1.0億円)、文学館・美術館再整備(+0.9億円)など
- ◆ **繰 出 金** 78.8億円 対前年度▲1.7億円
病院(▲0.8億円)、国保(▲0.8億円)、港湾(▲0.6億円)、後期高齢(+0.3億円) など



市債残高（全会計）

平成22年度末の全会計の市債残高見込みは1,063.1億円 対前年度▲45.2億円

